

株式会社アバールデータ

2015年3月期 決算説明会

AVALue⁺

2015年5月21日

株式会社アバールデータ

1. 会社概要
2. 2015年3月期（第56期）決算業績報告
3. 2016年3月期（第57期）業績予想
4. 今後の展開

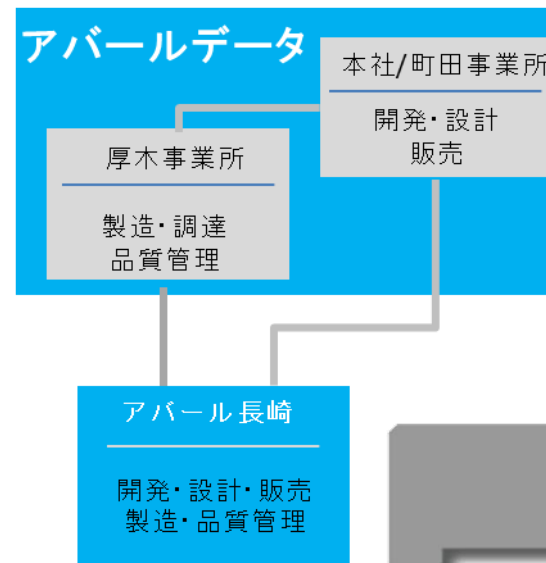
株式会社アバーलデータ 会社概要



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

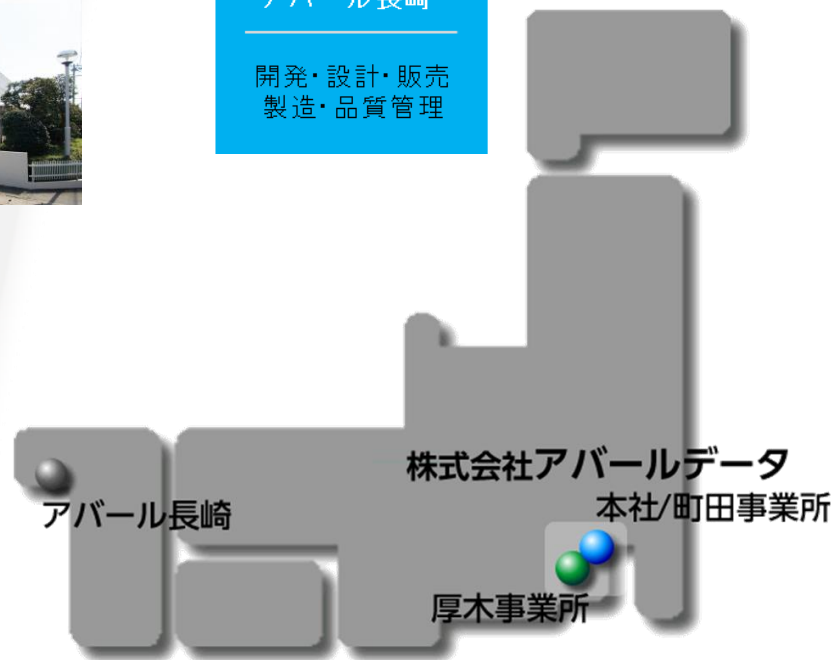
株式会社アバールデータ

- ★本社・町田事業所 東京都町田市
- ★厚木事業所 神奈川県厚木市
- ★設立 1959年8月
- ★資本金 23億5409万円
- ★従業員 175名
- ISO9001認証取得 (1995年)
- ISO1401認証取得 (2001年)
- 土地面積 6,426m²(町田 1,977m² 厚木 4,449m²)
- 延床面積 6,934m²(町田 2,957m² 厚木 3,977m²)



株式会社アバール長崎

- ★本社 長崎県諫早市
- ★設立 1987年11月
- ★資本金 1億3400万円
- ★従業員 125名
- ISO9001認証取得 (1996年)
- ISO1401認証取得 (2006年)
- 土地面積 8,885m²
- 延床面積 3,655m²



- | | | |
|------|---|--------------------------------------------------|
| 1959 | ● | 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立 |
| 1979 | ● | 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表 |
| 1987 | ● | 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立 |
| 1989 | ● | 社名を「株式会社アバールデータ」に変更 |
| 1991 | ● | 店頭銘柄として新規登録(現 東証JASDAQ) |
| 1996 | ● | (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化 |
| 2002 | ● | 高速光通信Giga Channelを独自企画、販売開始 |
| 2007 | ● | PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組込みと単体のサンプル出荷開始 |
| 2010 | ● | (株)アバール長崎:「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始 |
| 2010 | ● | PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組込み開始 |
| 2011 | ● | 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始 |
| 2012 | ● | 超高速光通信カメラインターフェースOpt-C: Linkを独自企画、販売開始 |
| 2013 | ● | 「医療機器製造業許可:一般」の許可取得 |
| 2014 | ● | カラー光切断法による三次元形状測定システム、開発 |

産業用装置向けの製品は、一般家庭のパソコン製品と区別して、
「**組込み**」製品と言います。

アバールデータの関連事業分野と利用製品



産業機器のために
設計された機器

日本のモノ作りを支える
縁の下の力持ち

アバールデータ 厚木事業所



表面実装ライン



- 表面実装ライン:5ライン
- 大量生産～変量多品種生産まで対応
- 環境対応製品製造
- 医療機器製造業許可

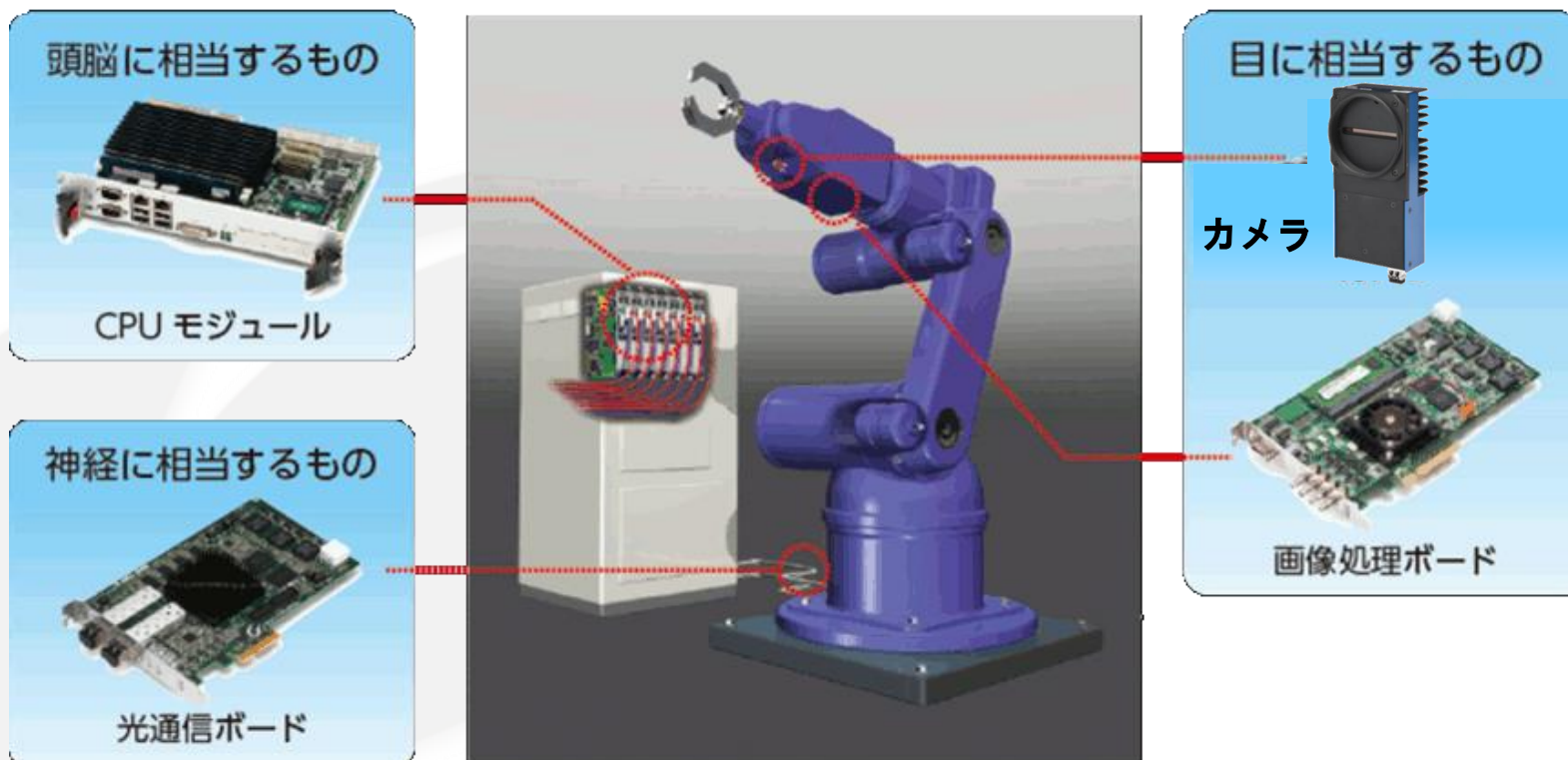
アバール長崎



表面実装ライン



アバールデータは組込み分野の製品を販売しているのですが、
そもそも「**組込み**」とは何でしょうか？



産業用装置は、様々な機能の製品が組み合わされて構成されます。

産業用装置は工場などの環境の悪い場所で
長期間止まることなく動作し続ける必要があります。

悪環境

停止不可！

工場

長時間稼働

【例】

工場の生産ライン制御

原子炉の制御、火星探査機・・・(止まると困る装置)

ブレーキ制御・・・(確実に時間内に動作が必要なもの)

組み込みモジュール

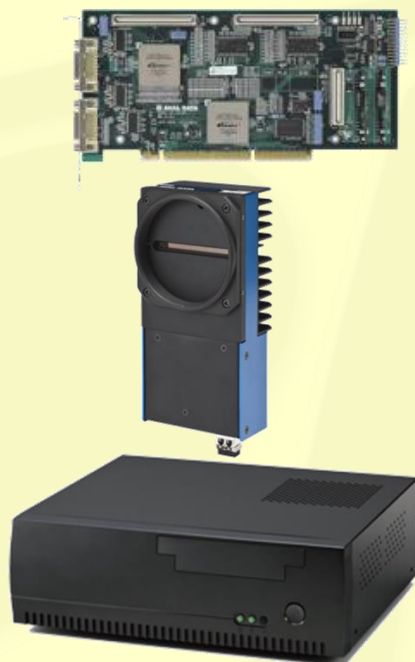
組み込み分野で業界をリードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機で活躍しています。

画像モジュール

画像処理ボードで国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使用します。

計測通信機器

産業用通信で最高速を誇るGigaチャンネル



機器間の高速通信に使われます。

国内市場をリードするCT技術と製品



FAX,コールセンター等で使われています。



スマートパワーシステム

「超高速」がキーワード

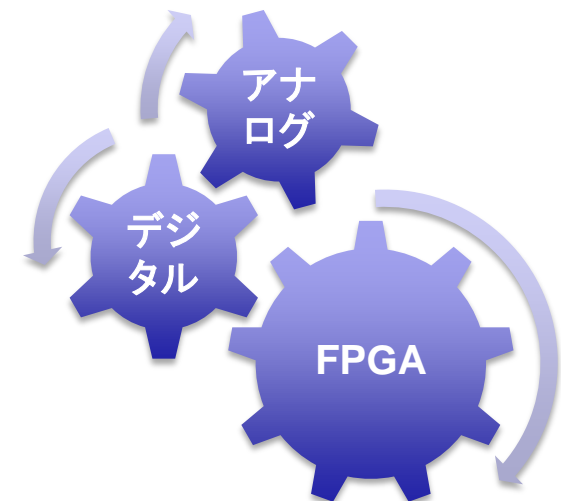
組込み・画像・通信のノウハウを自由に組み合わせてシステムの高速化設計を行える会社は少なく、これが当社大きな強みです。



組込み



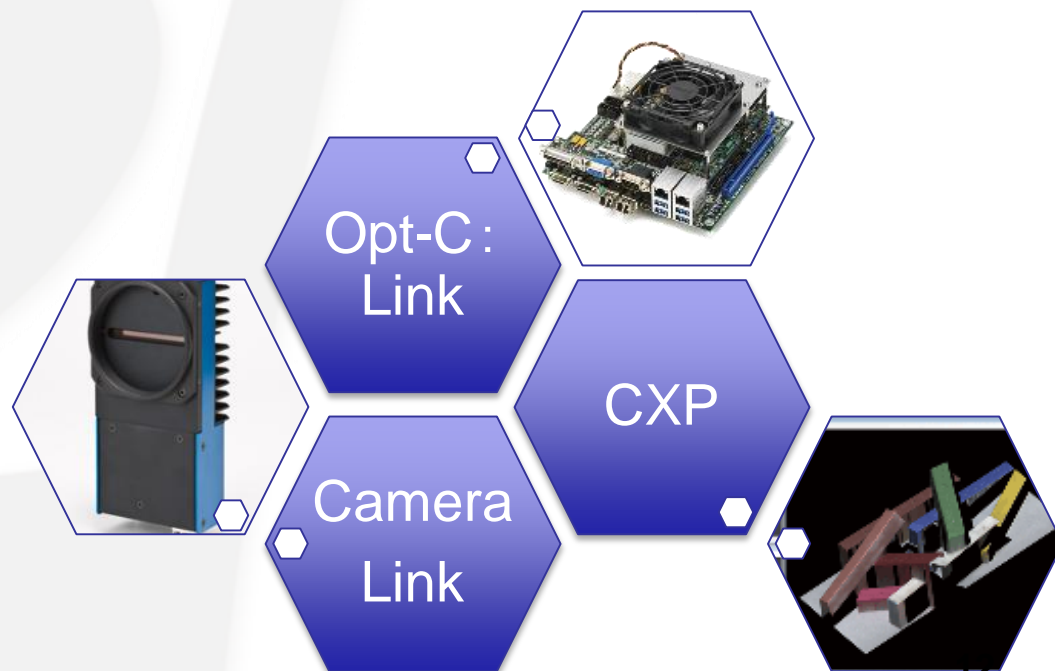
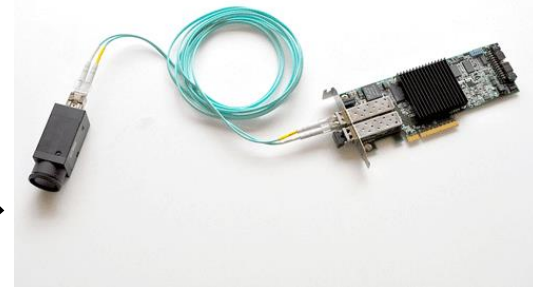
- ・デジタル／アナログの製品開発が可能
- ・FPGA※の高度な設計ノウハウを保有
- ・組込み用ソフトウェアに精通



※FPGA (Field Programmable Gate Array)
回路の書き換えが可能なロジック・デバイス

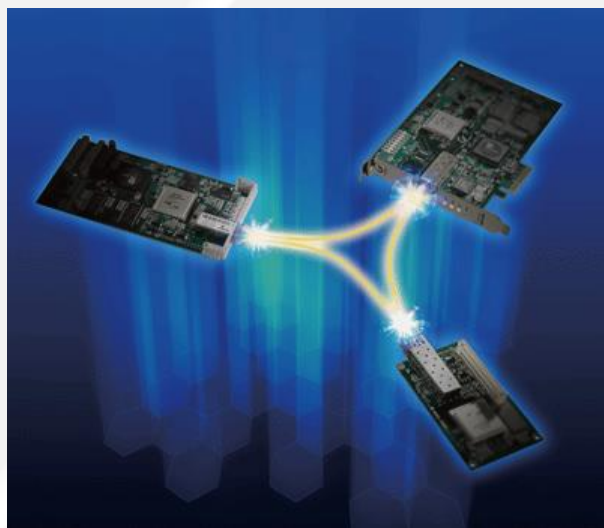
画像キャプチャ(取り込み)

- ・キャプチャボードでは、トップクラス
- ・近赤外線カメラの開発を推進
- ・3D計測で独自アルゴリズムを保有

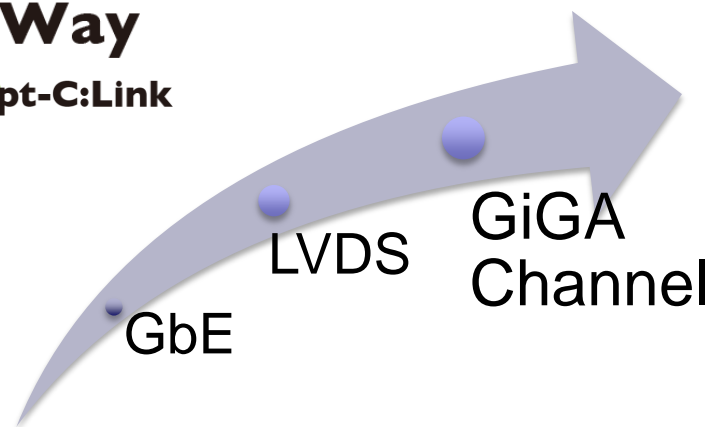


超高速通信

- ・光通信の独自ノウハウを保有
- ・色々な製品に適応可能
- ・最先端の高速センサーに追従可能

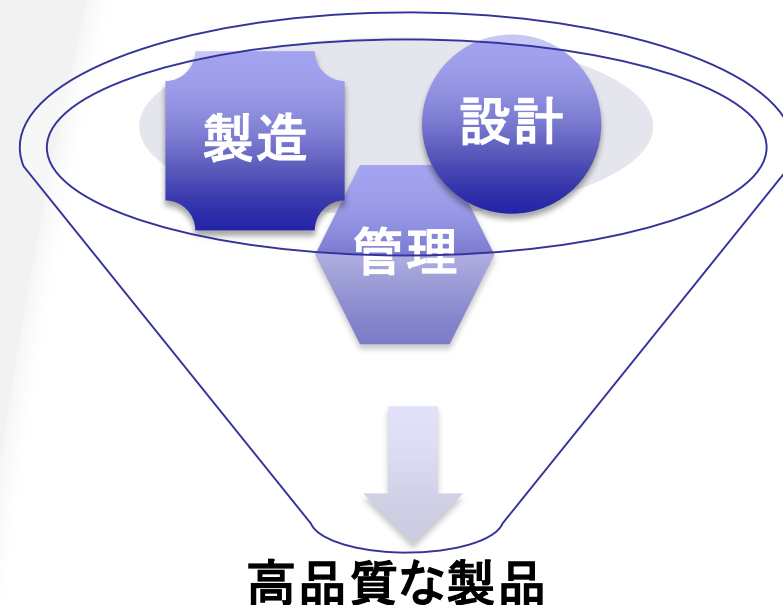



Opt-HighWay
 GiGA CHANNEL®  Opt-C:Link



自社工場

- ・設計と製造が一体となった総合品質
- ・出荷後のトレーサビリティ
- ・少量多品種の対応





A AIP

画像



X Express Converter

高速アナログ



GIGA CHANNEL

光通信



スマートカメラ

株式会社アバールデータ



2015年3月期（第56期）決算

業績報告

2015年3月期（第56期）業績報告

[期間：2014年4月1日-2015年3月31日]

2015年3月期 連結売上高比較

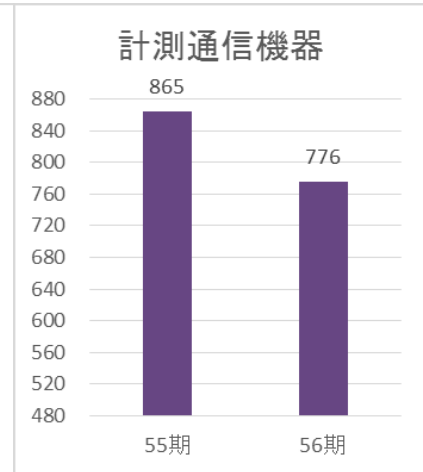
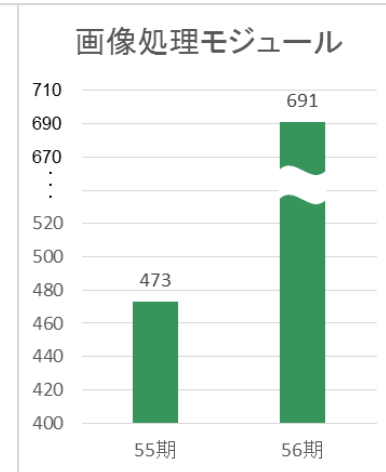
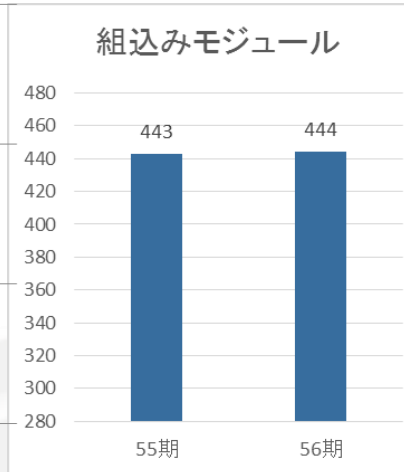
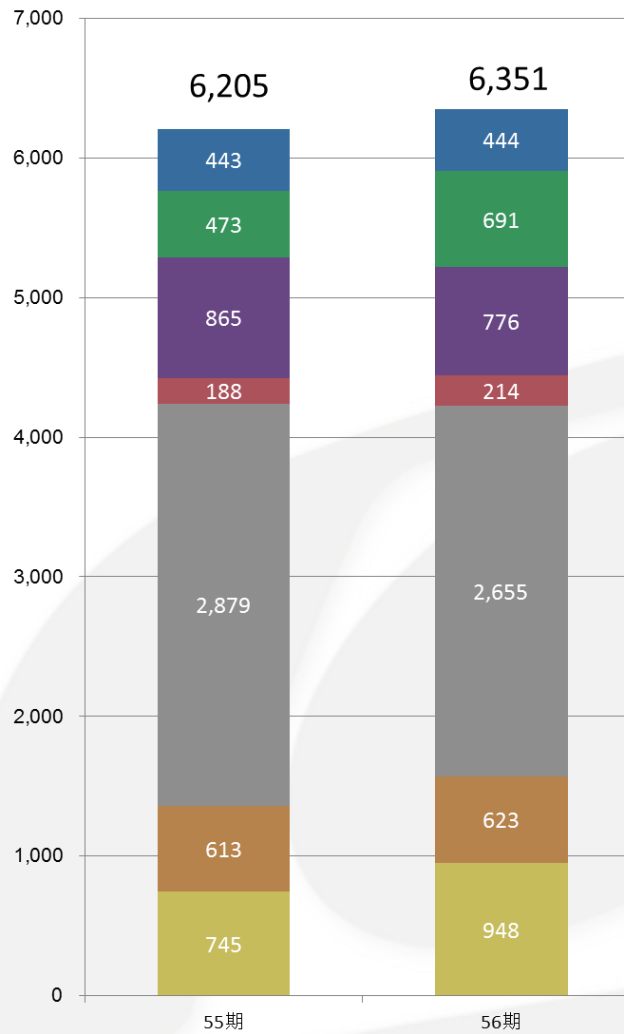
2014年3月期上期を100として半期比較

品目		2014年3月期		2015年3月期	
		上期実績 (1Q~2Q)	下期実績 (3Q~4Q)	上期実績 (1Q~2Q)	下期実績 (3Q~4Q)
セグメント	自社製品				
	組込モジュール	100	88	83	106
	画像処理モジュール	100	119	143	177
	計測通信機器	100	105	89	95
	自社製品関連商品	100	100	100	127
	自社製品小計	100	103	100	119
	受託製品				
	半導体液晶装置関連	100	142	92	132
	産業用制御機器	100	95	93	105
	計測機器	100	126	161	126
受託製品小計	100	131	104	126	
売上合計		100	121	103	124

2015年3月期 売上前年対比

2014年3月期(第55期) - 2015年3月期(第56期)

自社製品

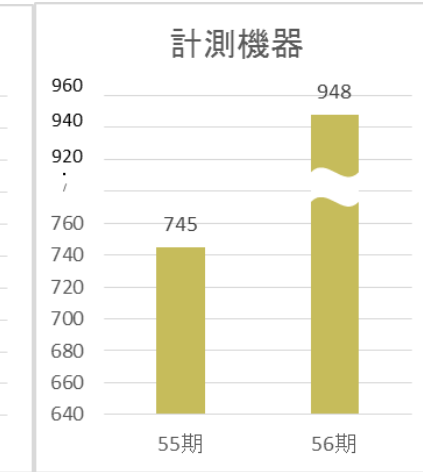
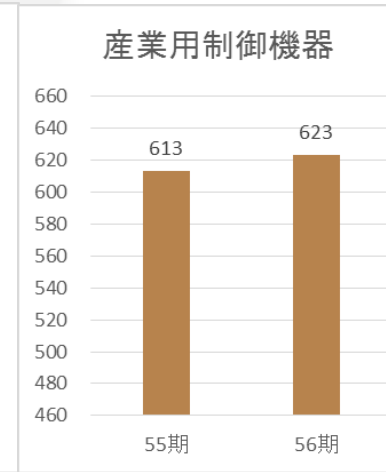
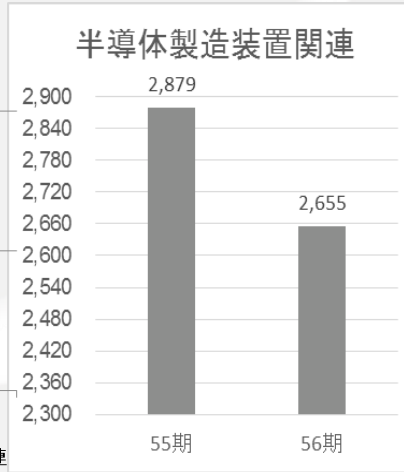


増減 +1 +0.4%

増減 +218 +46.2%

増減 -89 -10.4%

受託製品



増減 -224 -7.8%

増減 +10 +1.7%

増減 +203 +27.3%

- 計測機器
- 産業用計測機器
- 半導体製造装置関連
- 商品(自社製品関連)
- 計測通信機器
- 画像処理モジュール
- 組込みモジュール

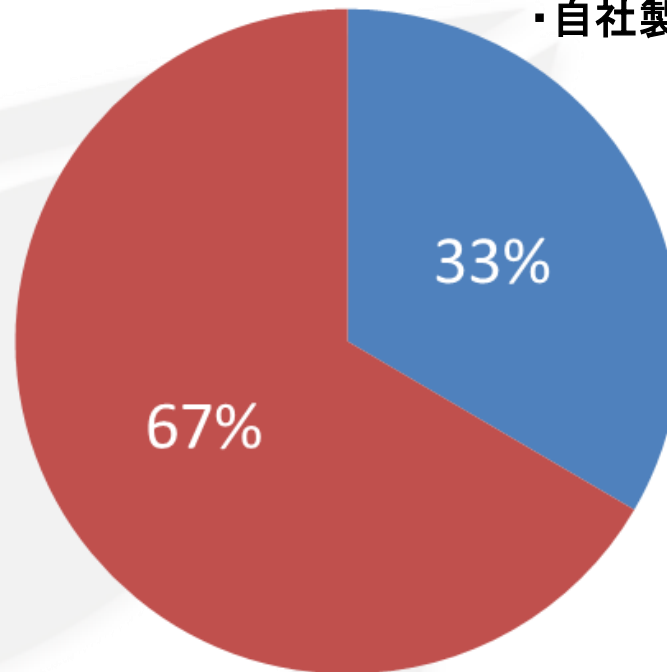
品目 / 項目		2015年3月期(第56期)通期実績			
		連結		個別	
セグメント	品目	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率
自社製品	組込みモジュール	444	0.4%	450	0.9%
	画像処理モジュール	691	46.2%	691	46.0%
	計測通信機器	776	△10.4%	326	△20.6%
	自社製品関連商品	214	13.8%	138	1.5%
	小計	2,124	7.9%	1,606	9.5%
	セグメント利益	363	19.1%		
受託製品	半導体製造装置関連	2,655	△7.8%	2,067	△7.7%
	産業用制御機器	623	1.7%	244	53.9%
	計測機器	948	27.3%	323	2.3%
	小計	4,226	△0.2%	2,634	△3.0%
	セグメント利益	562	2.4%		
売上合計		6,351	2.3%	4,240	1.4%
営業利益		433	0.7%	367	△0.3%
経常利益		469	△2.3%	409	△3.3%
当期純利益		306	1.6%	286	1.9%

(注) 連結各セグメント利益合計925百万円と営業利益433百万円との差額492百万円はセグメントに属さない全社費用等。

セグメント別売上比率(6,351百万円)

自社製品(2,124百万円)

- ・組込みモジュール
- ・画像処理モジュール
- ・計測通信機器
- ・自社製品関連商品



■ 自社製品

■ 受託製品

受託製品(4,226百万円)

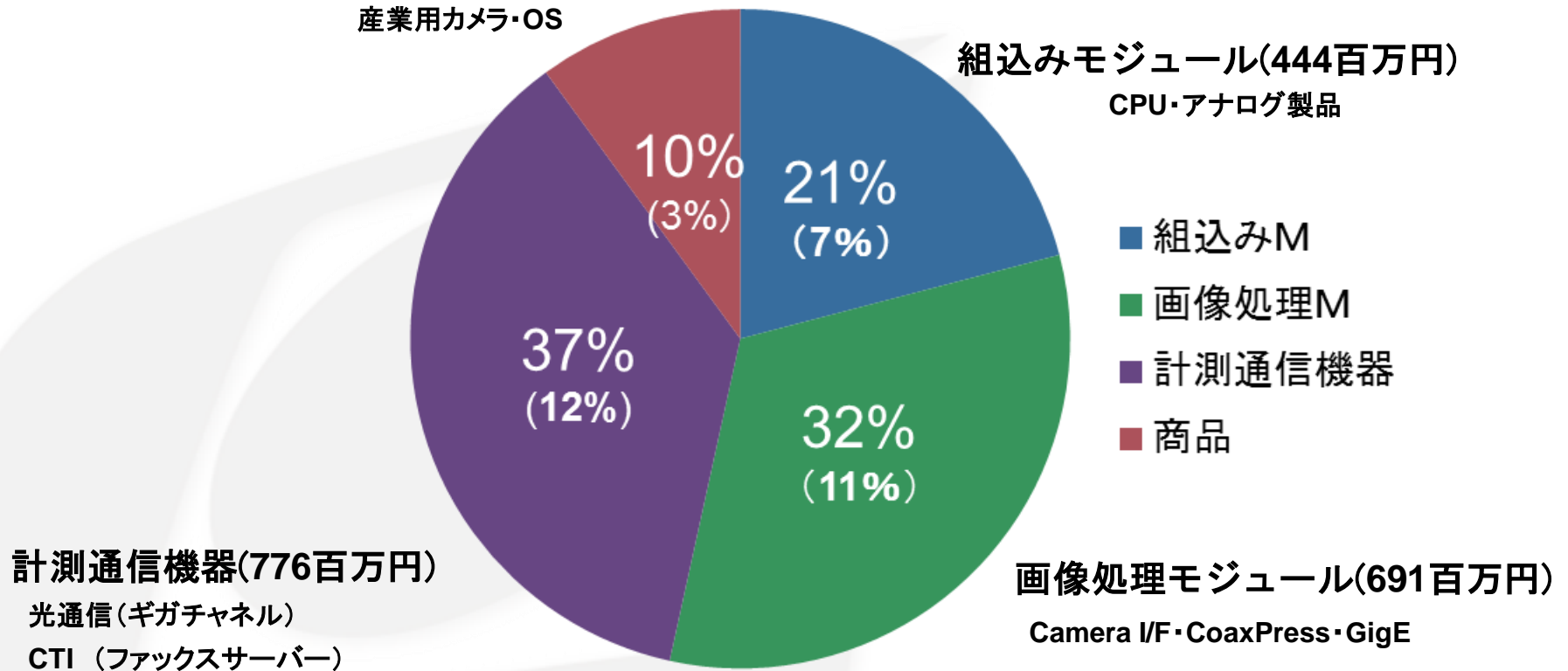
- ・半導体製造装置関連
- ・産業用制御機器
- ・計測機器

グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

自社製品売上比率(2,124百万円)

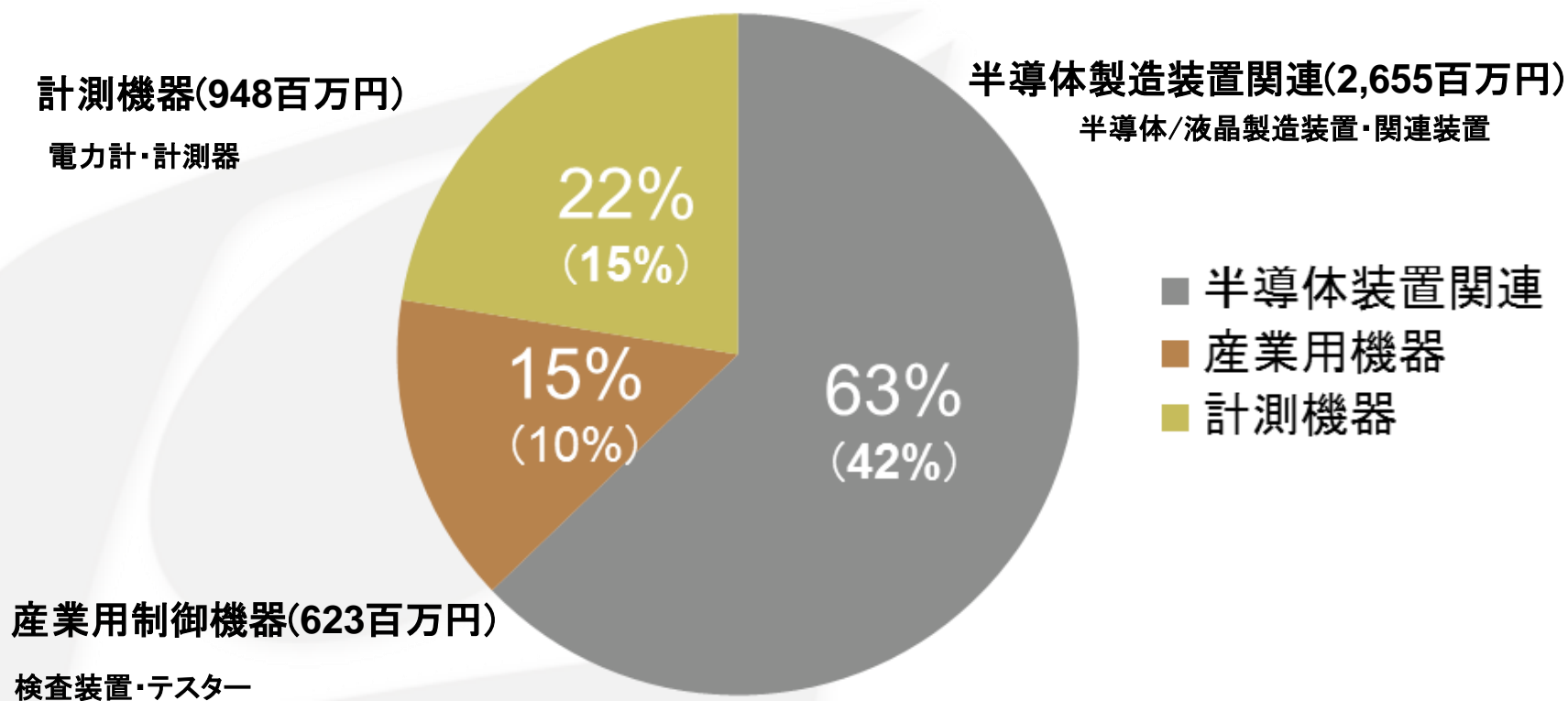
自社製品関連商品(214百万円)

産業用カメラ・OS



グラフのカッコ内の数字は全売上に占める比率です。

受託製品売上比率(4,226百万円)





組込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般及び半導体製造装置関連の受注は回復局面、売上高は微増。

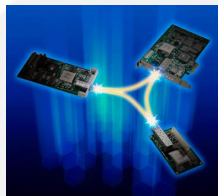
→売上高 444百万円(前年同期比0.4%増)



画像処理モジュール分野(自社製品)

- FA全般及び液晶関連装置はいまだ本格的な回復に至らず。新製品の立ち上がりに加え、新分野での営業開拓が順調に進み、売上高は、大幅増。

→売上高 691百万円(前年同期比46.2%増)



計測通信機器分野(自社製品)

- CTI製品は堅調。
- 超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、第3四半期以降、停滞。売上高は減少。

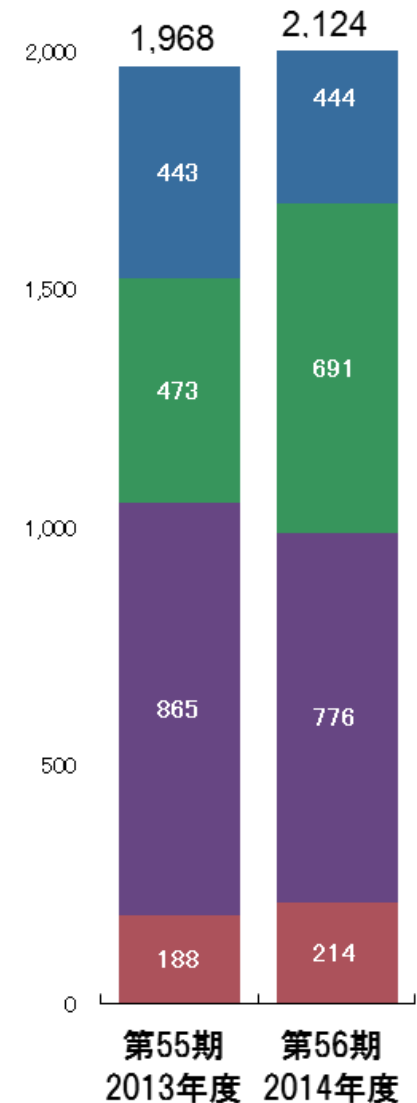
→売上高 776百万円(前年同期比10.4%減)

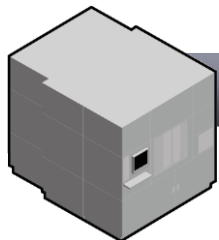


商品(自社製品関連)

- 自社製品関連商品は、自社製品全般の回復傾向により、売上高は増加。

→売上高 214百万円(前年同期比13.8%増)

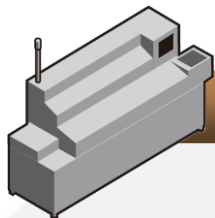




半導体製造装置関連分野(受託製品)

- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続き、最先端の半導体製造装置への設備投資が再開。第2四半期までの生産調整の影響で売上高は減少。

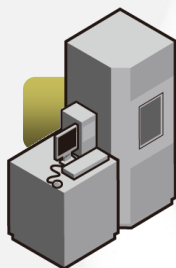
→売上高 2,655百万円(前年同期比7.8%減)



産業用制御機器分野(受託製品)

- 各種の産業用検査装置の受注は回復基調。社会インフラ関連が引き続き低迷し、売上高は微増。

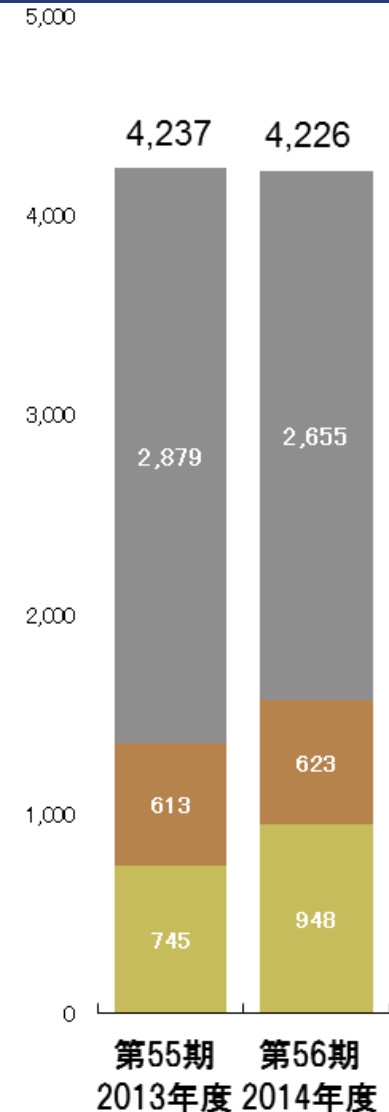
→売上高 623百万円(前年同期比1.7%増)



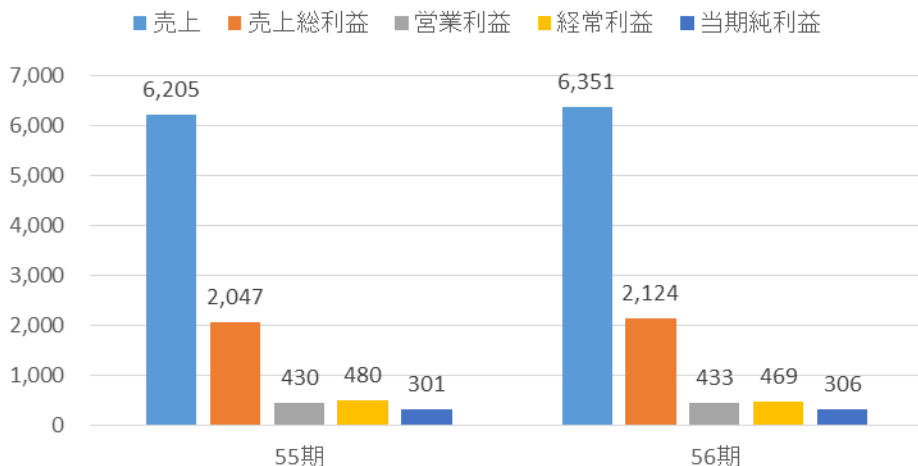
計測機器分野(受託製品)

- 各種計測機器の受注の回復傾向に加え、省エネ機器関連の立ち上がりにより、売上高は増加。

→売上高 948百万円(前年同期比27.3%増)



売上・利益



売上高	増減	146	増減率	2.3%
-----	----	-----	-----	------

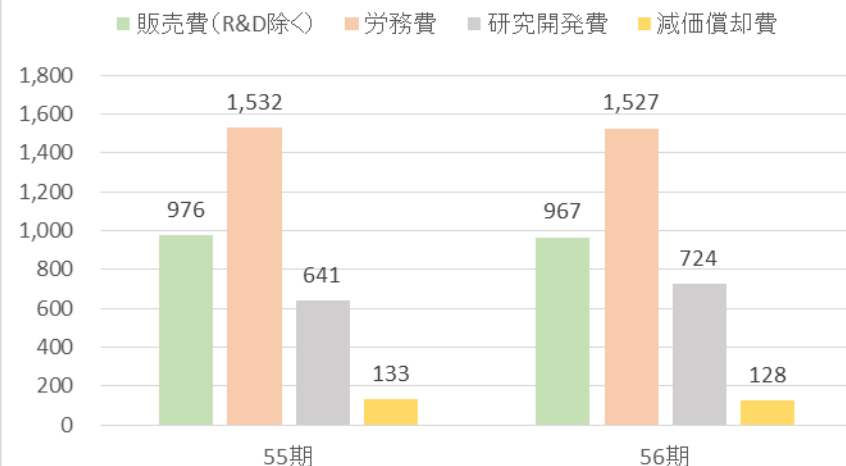
売上総利益	増減	77	増減率	3.7%
-------	----	----	-----	------

営業利益	増減	3	増減率	0.7%
------	----	---	-----	------

経常利益	増減	-11	増減率	-2.3%
------	----	-----	-----	-------

当期純利益	増減	5	増減率	1.6%
-------	----	---	-----	------

経費



販管費(R&D除く)	増減	-9	増減率	-0.9%
------------	----	----	-----	-------

労務費	増減	-5	増減率	-0.3%
-----	----	----	-----	-------

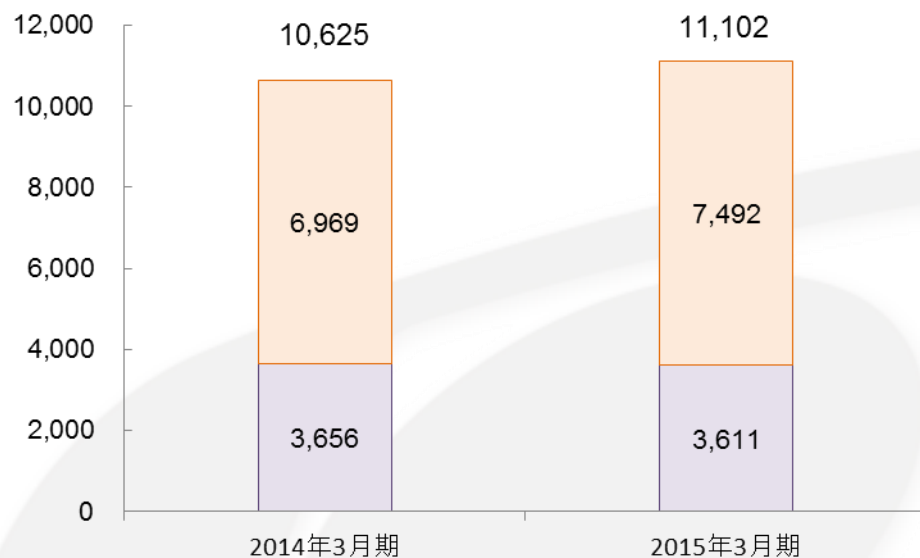
研究開発費	増減	83	増減率	12.9%
-------	----	----	-----	-------

減価償却費	増減	-5	増減率	-3.8%
-------	----	----	-----	-------

➤ 自己資本比率 76.0%

資産の部

□ 固定資産 □ 流動資産

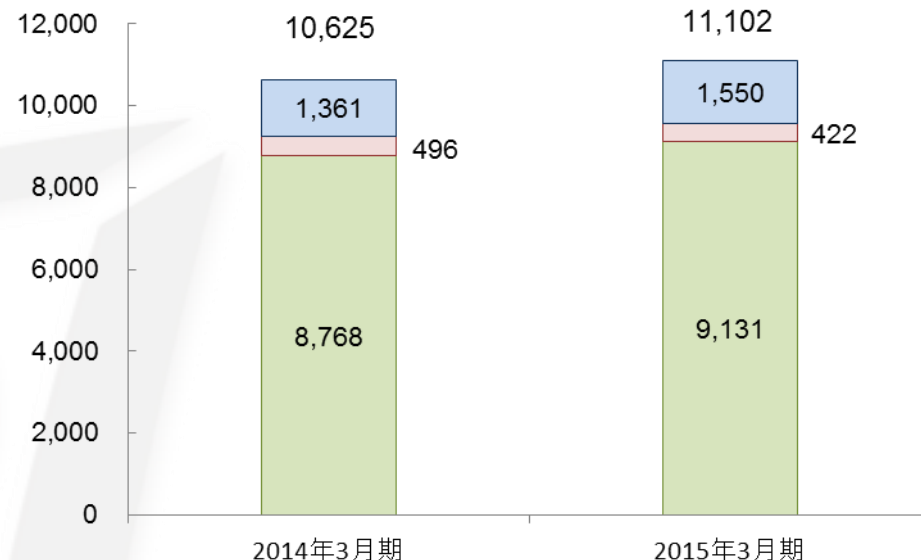


主な増減

流動資産	522
現金預金	163
受取手形・売掛金・電子債権	16
棚卸資産	352
固定資産	△ 45
投資有価証券	12
有形・無形固定資産	△ 58

負債及び純資産の部

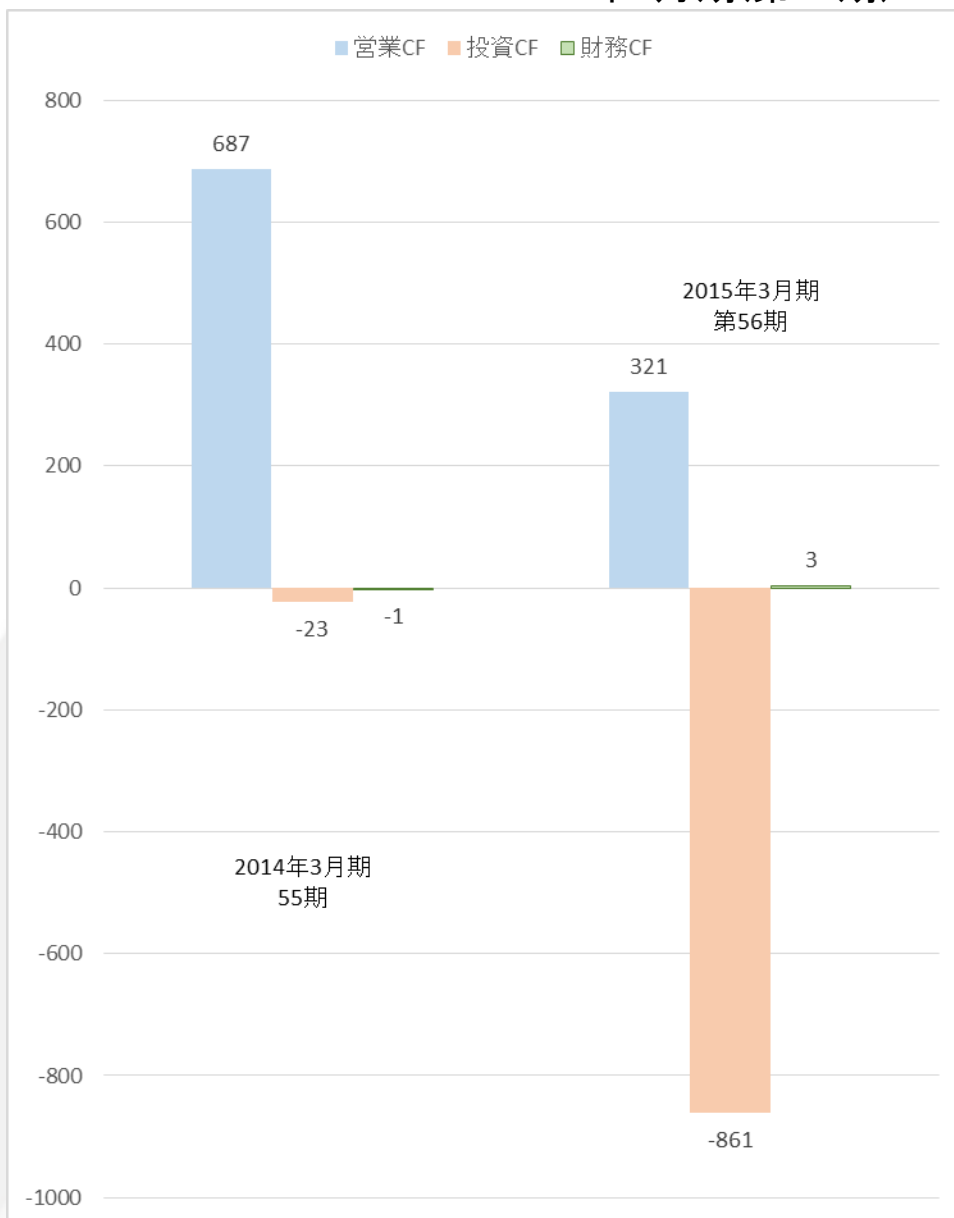
■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



主な増減

流動負債	189
未払法人税等	△ 154
前受金	68
支払手形・買掛金	266
固定負債	△ 74
長期借入金	△ 26
繰延税金負債	△ 26
純資産	362

2014年3月期(第55期) - 2015年3月期(第56期)



2015年3月期(第56期)CF

営業活動によるCF 321

税金等調整前当期純利益	469
減価償却費計上	128
仕入債務の増加	266
棚卸資産の増加	△ 351
法人税等の支払い	△ 265

投資活動によるCF △ 861

固定資産の取得	△ 111
投資有価証券取得	△ 42
定期預金の預入	△ 700

財務活動によるCF 3

借入金の返金	△ 28
当社株式配当金支払い	△ 89
自己株式の売却	127

既存製品のシリーズ強化と利便性追求

組込

Intel 超高速MPUボード シリーズ化

ACP-140シリーズ ACP-141シリーズ

小型プラットフォームASB・ASIシリーズ



画像

超高速画像処理ボード

APX-3326/APX-3327他



次世代カメラインターフェース 製品強化

CoaXPress対応APX-3664



通信

更なる高速化/ローコストシリーズ実現

16Gbit/秒 APX-782,AGM-782, APX-941 LP4

28Gbit/秒 APX-7142



テーマよりも高速により精細に！

新規分野への挑戦

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇔デジタル変換ボード

APX-5040・APX-5050

APX-5200 シリーズ化 開発中



Opt-C:Link

光I/F グラバード

APX-3800・APX-3881



スマートグリッド

インテリジェント電源 大容量シリーズ

スマートパワー・システム



その他

近赤外カメラ ABAシリーズ

スマートラインカメラ AMLシリーズ

FPGA-IPライブラリ シリーズ化

業務提携および資本提携について

証券コード3687	株式会社 フィックスターズ
2014年11月13日	業務資本提携発表 データ保存に関する高付加価値製品の共同開発

	イーソル株式会社
2013年11月28日	超高速データ処理エンジン&関連ソリューション開発で協業開始発表
2014年11月末日	「組込みマルチコアコンソーシアム」のメンバーになる。

証券コード6669	シーシーエス株式会社
2015年1月13日	光切断3D処理で協業開始 「卓上型高速・高分解能カラー3Dスキャナー」共同開発

株式会社アバールデータ



2016年3月期（第57期）

業績予想

2016年3月期（第57期）業績予想

[期間：2015年4月1日-2016年3月31日]

2016年3月期 連結売上高比較

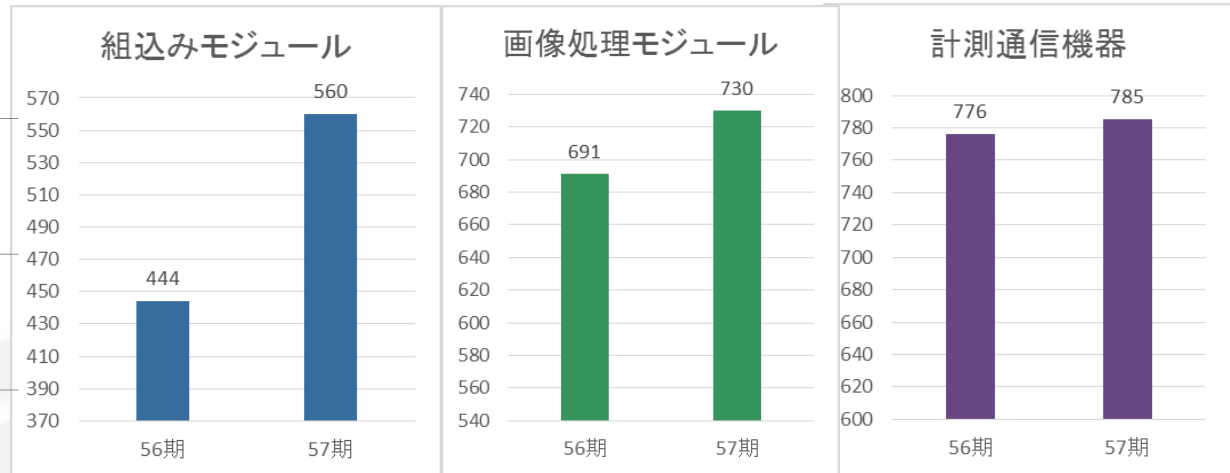
2015年3月期上期を100として半期比較

品目		期	2015年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2016年3月期
			上期実績 (1Q~2Q)	下期実績 (3Q~4Q)	上期計画 (1Q~2Q)	下期計画 (3Q~4Q)
セグメント	自社製品	組込モジュール	100	128	138	149
		画像処理モジュール	100	124	117	120
		計測通信機器	100	107	96	114
		自社製品関連商品	100	127	106	122
		自社製品小計	100	119	112	124
	受託製品	半導体液晶装置関連	100	144	119	113
		産業用制御機器	100	113	121	121
		計測機器	100	79	114	106
		受託製品小計	100	121	118	112
	売上合計			100	120	116

2016年3月期 売上前年対比

2015年3月期(第56期) - 2016年3月期(第57期)

自社製品

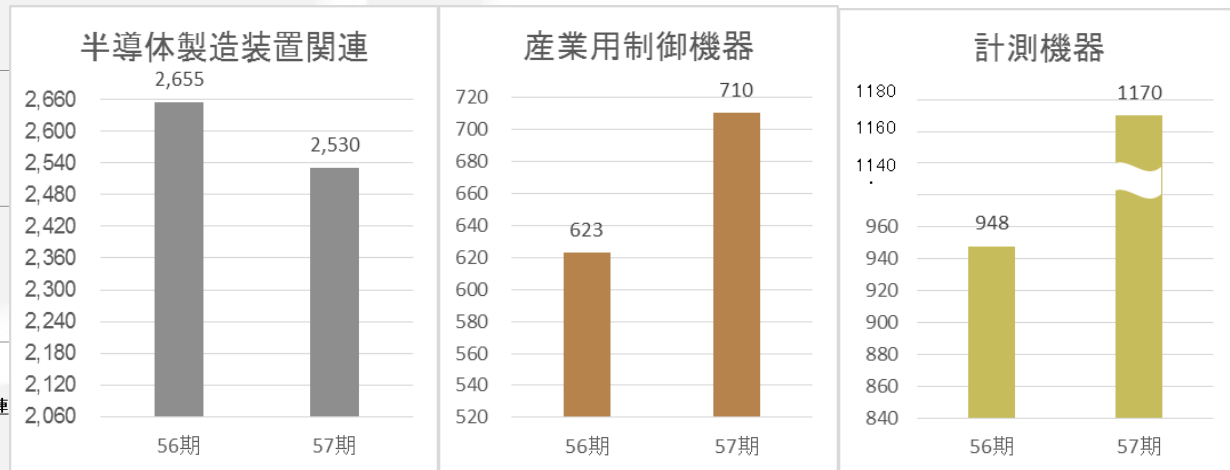


増減 +116 +26.1%

増減 +39 +5.7%

増減 +9 +1.2%

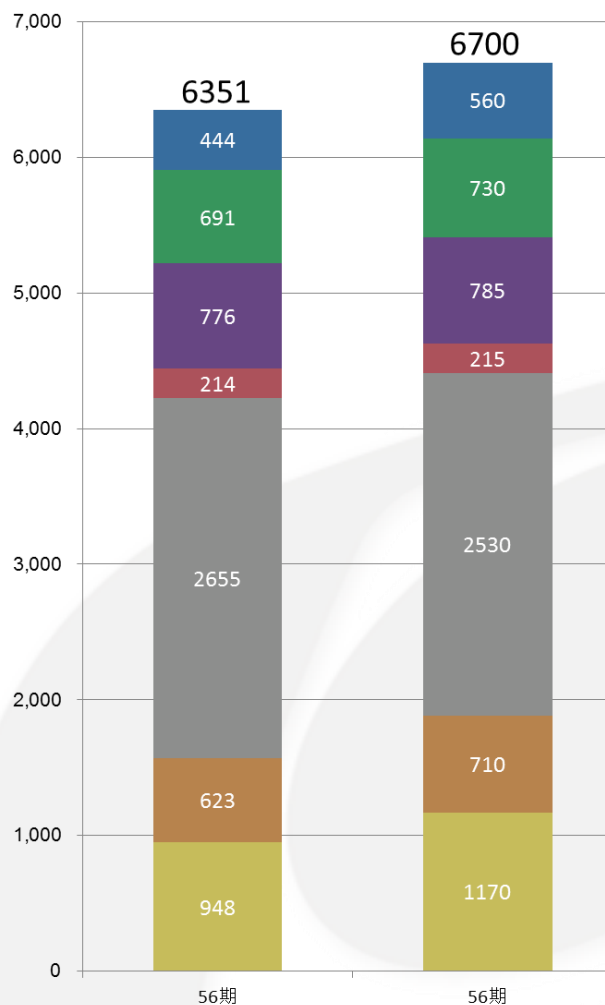
受託製品



増減 -125 -4.7%

増減 +87 +13.9%

増減 +222 +23.5%



- 計測機器
- 産業用計測機器
- 半導体製造装置関連
- 商品(自社製品関連)
- 計測通信機器
- 画像処理モジュール
- 組み込みモジュール

品目		2016年3月期(第57期) 中間期		2016年3月期(第57期) 通期					
		連結		個別					
セグメント	品目	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率
自社製品	組込みモジュール	270	38.5%	270	37.3%	560	26.1%	560	24.4%
	画像処理モジュール	360	17.1%	360	17.0%	730	5.7%	730	5.6%
	計測通信機器	360	△3.9%	150	△15.3%	785	1.2%	350	7.2%
	自社製品関連商品	100	6.1%	80	45.9%	215	0.7%	180	30.3%
	小計	1,090	12.2%	860	16.8%	2,290	7.8%	1,820	13.3%
受託製品	半導体製造装置関連	1,300	19.3%	1,050	20.5%	2,530	△4.7%	1,970	△4.7%
	産業用制御機器	355	21.1%	130	1.9%	710	13.9%	280	14.9%
	計測機器	605	14.0%	140	△7.0%	1,170	23.5%	350	8.4%
	小計	2,260	18.1%	1,320	14.8%	4,410	4.3%	2,600	△1.3%
売上合計		3,350	16.1%	2,180	15.6%	6,700	5.5%	4,420	4.2%
営業利益		245	145.4%	195	96.7%	520	20.1%	420	14.5%
経常利益		265	116.4%	225	75.2%	550	17.2%	460	12.5%
当期純利益		170	117.4%	155	80.0%	355	16.0%	315	3.9%

今後の展開

AaA
actionandachievement
実行と実現

組込み市場の変化への対応

AaA
actionandachievement
実行と実現

差別化された新製品

パートナーとの協業

トータルシステム
の提供

主力分野
65% → 55%

現在の
主力分野

半導体/液晶
製造装置

FA用制御装置

CTI/FAX
サーバ・
コールバックセンタ

電力制御装置

新しい分野
35% → 45%

新しい
応用分野

メディカル・薬剤・
バイオ・食品

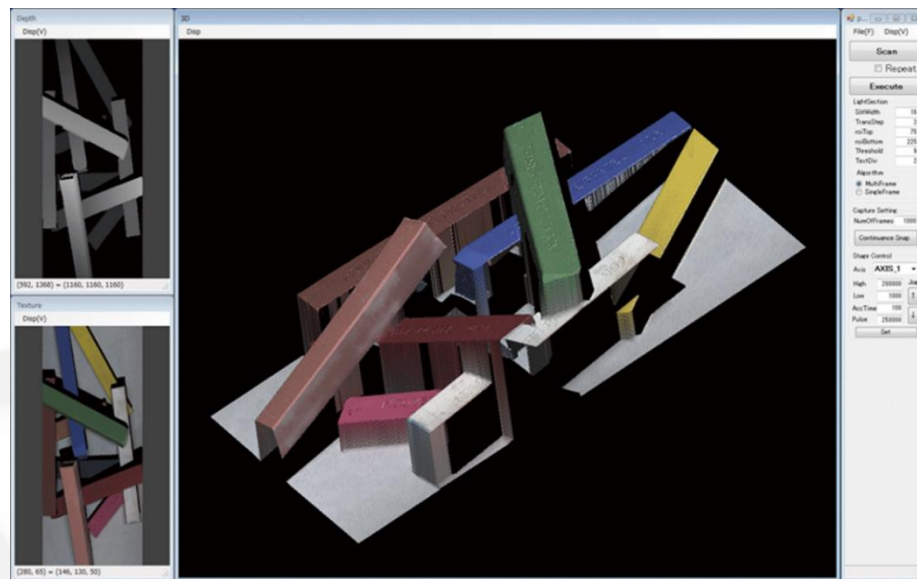
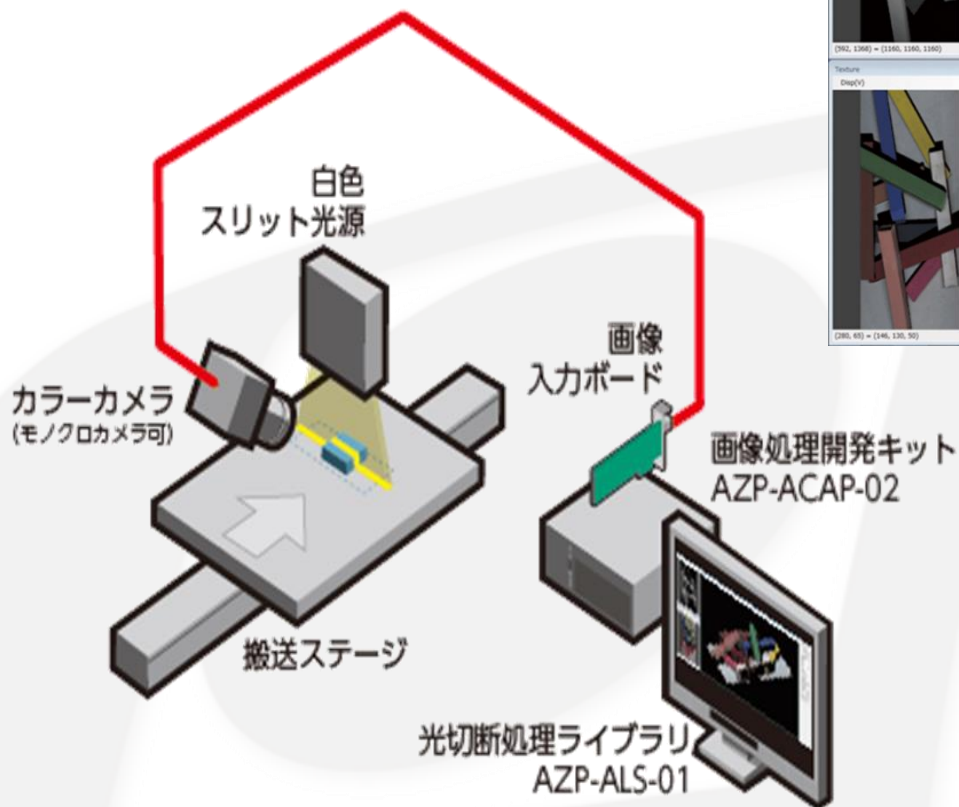
パワーデバイス
イメージセンサ・LED

パワーソリューション・
スマートオフィス/ビル

車両・船舶・
地震計・データセンタ



光3D計測



映像情報AWARD 金賞

株式会社アバールデータ
AZP-ALS-01

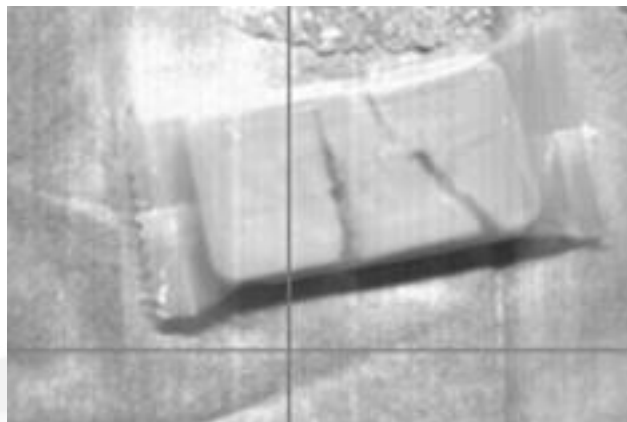
貴社の製品は『第12回映像情報AWARD』において多数の読者から支持を得、栄えある金賞に輝きました。独自の着想に基づく開発成果を讃えここに賞します。

2015年3月吉日
産業同業機構株式会社
映像情報インストラリアル編集部

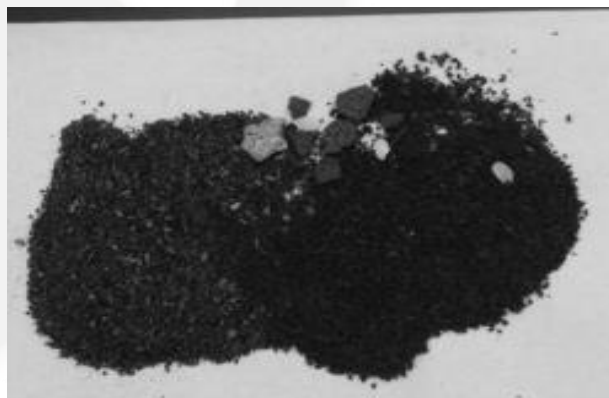
近赤外線カメラ



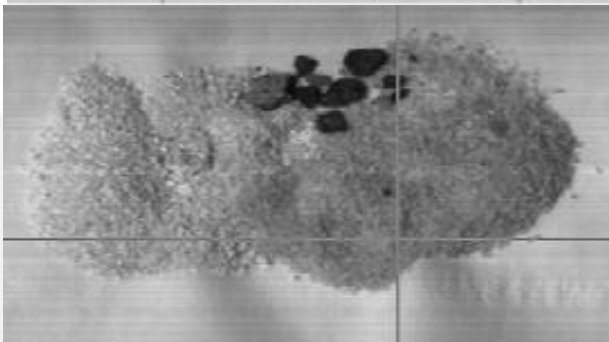
可視光では、見えなかった
モノを見えるようにする



菓子の割れ
左：近赤カメラ



茶葉の異物
上：白黒カメラ
下：近赤カメラ

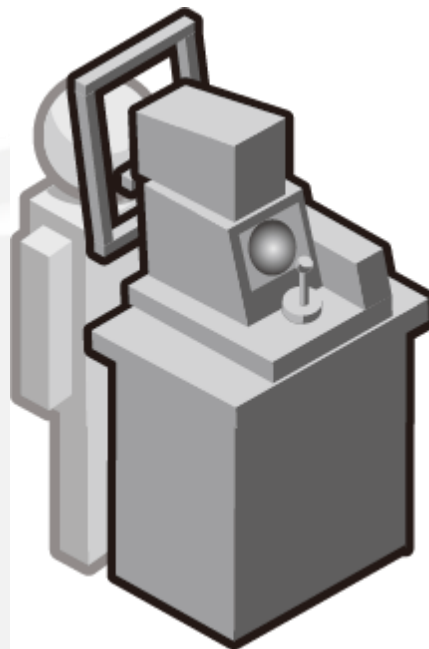


高速A/D

採用例：眼底カメラ



センシングの高速化、
高性能化を推進



A/D+光通信

より積極的な株主還元を行うため、連結配当性向の基本を35%に引き上げる。

変更内容

時期	配当方針
2015年3月期まで	安定的な配当に考慮。 各期の業績に応じて連結配当性向30%を基本に利益還元。
2016年3月期から	安定的な配当に考慮。 各期の業績に応じて連結配当性向35%を基本に利益還元。

配当推移

年度	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 予定	2016年3月期 予想
配当(円)	21	8	15	15	19
配当性向	30.8%	272.5%	30.7%	31.9%	35.5%

新たな飛躍

成長事業の確立(新分野への挑戦)

体質強化(スリムな企業体質)

生産性の拡大(微細化、多品種)

連結
売上

77億円

経常
利益率

11%

ROE

8%

配当
性向

35%

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。

<http://www.avaldata.co.jp>